

単元名 あの日を忘れない(鑑賞)
配当時間 2時間

単元の目標 (1) 形や色彩などが感情にもたらす効果や、物の組み合わせや構図などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることができる。
 (2) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に絵に込められた作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

12270102_001

【準備等】 参考資料、ワークシート、視聴覚機器、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 主題に基づいて表現の工夫や表現意図について考える。 ○ 作者の言葉から強く表したかったことを感じ取る。 ★ 作者が強く表したかったことを考えよう。 ○ 作品の大きさや描かれているものから感じる表現の工夫について考える。 ○ 作者の生きた時代や社会的背景など一層幅広い視点から捉えた作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え、美に対する鋭敏な感覚を働かせながら見方や感じ方を深める。 2 見方や感じ方を深める。 ★ 生活や社会における美術の働きについて考えよう。 ○ 生活や社会の中の美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 ○ 造形的な特徴などを基に、見立てたり心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉えながら振り返る。	・ 主題に基づいた表現の工夫や表現意図について考えさせる。 ・ 全体のイメージや作風、作品の大きさなどで捉え見方を深めさせる。 ・ 東日本大震災やゲルニカの空爆などの背景を踏まえ、作品を深く味わわせ、作者の内面や生き方を推し量ったり作品の構成や表現方法などを研究させたりする。 【評】 形や色彩、材料などの性質及び、それらが感情にもたらす効果や、物の組み合わせや構図や色彩などを基に、全体のイメージや作風などを理解する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 自分の生き方との関わりで美術を捉えられるよう、見方や感じ方を深めさせる。 【評】 作者の訴えたいことや表現の意図、創造的な工夫、社会における美術の在り方について考えるなどして、見方や感じ方を深める活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 主題に基づいた表現の工夫や作者の表現意図について考えさせ、全体に着目してイメージで捉え、これからの制作に生かせるよう言葉かけをする。 【評】 造形的な美しさなどを感じ取り、未来の人類の幸福などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元は、自然災害の脅威や戦争の惨劇への怒りや悲しみから生まれた作品から、作者の訴えたいことなどに関心をもち、社会における美術の力などについて考える。形や色彩、作品の大きさなどの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりできるようにすることが大切である。作風などから自分が捉えたことを他者と伝え合うなどして深めさせたり、文献などを調べて理解したことなどから、さらに、イメージが広がるような活動を通して理解を深めたりすることなどが考えられる。